



木火土金水

園長 立石 晃子

「天高く馬肥ゆる秋」との言葉どおり、さわやかな秋空が見られる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様、PTA 顧問の皆様にご協力いただき盛大に運動会を終え、子供たちは心地よい気候の中、外に出掛け、体を動かすこと、自然に触れることに取り組んでいます。9月に荒木田土を増量した泥山は子供たちの大好きな場所となりました。天気の良い日は子供たちが土を掘ったり、水を流してつるつるになった斜面を滑り降りたり、ドロドロになって遊んでいます。茶色くなった服を持ち帰るときに、保護者の方が嫌な顔一つせず「楽しかった？」と受け入れてくださる姿に感謝しております。

10月20日(金) 年中・年長児は水代果樹園に芋掘り遠足に出掛けました。今夏は猛暑で雨が降らなかったことが影響し、サツマイモは育っていなかったり、地中深くにできたりしていました。そして地中深くのサツマイモは水を求めて根っこを太く長く張っていたため、さらに芋掘りを困難なものにしていました。そんな状況でも本園の子供たちは十分に土に触れる経験してきていますので、畑での子供たちの土に向かう姿は逞しく、ガッツのあるものでした。あきらめずに掘り続け、出てきた大きなサツマイモを持ち上げ、「先生、見て！」と収穫を共に喜び合いました。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」にも「自然との関わり・生命尊重」があります。「自然に触れて感動する体験を通して自然の変化を感じ取り、好奇心や探求心を持って考え、言葉などで表現しながら、身近な事情への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。(略)」という内容です。東京大学名誉教授 汐見稔幸先生は著書の中で、「自然と関わるということ、いろいろな体験をするということは、それ自体が子どもの中に感性を開いていく」と述べ、「木火土金水(もっかどごんすい)」を挙げています。地球にあるあらゆるものは、木・火・土・金・水の5つの要素から成り立っていると考える思想で、五行学説の始まりとなるものだそうです。そして、「曜日の体験をしっかりとしていくことが大事だ」と述べています。子供たちの生活に曜日の体験を結びつけ感性を開いていきます。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

「いれて」「あそぼ」友達と遊ぶのって楽しいね！

初めての運動会も経験し、もも組の中で少しずつクラスの仲間という気持ちが育ってきているように感じます。みんなでリズムを踊ったり、みんなで走ったりと“みんな”で同じことを行ったことで、一緒に過ごす楽しさを知りました。心も体も大きく成長したように思えます。また、他学年の競技を見て応援しようとする姿や、他学年のリズムに興味をもち、繰り返し踊ることを楽しむ姿や、自分たちで「教えて！」と言って踊りを教わる姿も見られています。

幼稚園も秋の季節になってきて、りんごやミカンを見つけて砂場でケーキやジュースを作っています。今しかできない遊びを楽しんでいます。

11月にはもも組初めての足立区生物園へ遠足です！！安全に気を付けながら、色々なものを見て発見し、楽しい遠足になるようにします。

< 4 歳たんぼ組 >

「見てみて！葉っぱが黄色できれい！」とみんなで秋探し！

ねこになって楽しく取り組んだ運動会。「ばら組さんみたいにかっこよくピッピって歩く！」「ニコニコで踊った方が、にゃんパラが可愛い」などと自分たちでなりたい姿を想像して頑張っていた子供たちでした。ばら組が行っていた係の役割にも憧れが大きく、運動会後は、自分たちでプラカードを持って練り歩いたり、もも組に踊りを教えに行ったりと、気持ちが年長組へと向き始めている様子です。

急に朝晩が涼しくなり、夏から秋になったという話をたくさんしています。葉の色が色づく様子や、木々の実が落ち始めていること、みかんや柿が色づいてきていることなど、みんなで見たり、拾ってきて友達に見せたりと秋に親しんでいます。自然の変化に目を向け気付いたことを言葉で伝え合ったり、遊びの中で自分の思いを友達に伝えたり、アイデアを出し合ったり...ここからは、「言葉で相手に考えを伝えようとする」ということを大事に過ごしていきます。

< 5 歳ばら組 >

友達と力を合わせて頑張るって、素敵だね！

学級の友達と力を合わせて取り組んだ運動会。競技だけでなく、年長組として係の仕事や司会も張り切って取り組み、さすが年長組！という姿をたくさん見せてくれた子供たち。運動会後は他学年のリズムと一緒に踊って楽しんだり、パーランクーを貸してエイサーと一緒に踊ったり、並走しながらリレーを教えたりする姿も見られました。他の学年の友達との関わりも今まで以上に増え、遊びの中でも関わりを楽しんでいます。学級では友達と誘い合って、鬼遊びやドッジボールをしたり、力を合わせて場を作って遊んだりしています。友達と誘い合ったり「こうした方がいいんじゃない？」と意見を出し合ったりしながら、友達のよさやみんなで遊ぶ楽しさをたくさん感じている子供たちです。運動会を通して友達と力を合わせたり、自分なりに繰り返し挑戦したり助け合ったりした経験や自信を、次の活動の意欲へつなげていきます。

今月は、劇遊びの会に向けて友達と考えを出し合い、一つのものを作り上げる機会を大切に、思いや考えが実現できるよう援助していきます。